

# 平成30年度 清泉女子大学 AO(アドミッション・オフィス)入学試験要項

清泉女子大学は、キリスト教ヒューマニズムを建学の精神とし、学生一人ひとりの個性を大切に伸ばしていく少人数教育を行っている。こうした本学の建学の精神および教育理念に沿ったものが本学のAO(アドミッション・オフィス)入学試験制度である。

この制度は、志望する学科の教育の目標と内容を十分理解し、本学で学ぶことを強く希望する者を対象に、書類審査、小論文、面接等を通して、一般入学試験では測れない志願者の資質、個性、能力、勉強意欲、経験、学業以外の諸活動の成果等を総合的・多面的に評価し、各学科が求める学生を選考するものである。

## 1. 募集学科・募集人員・試験日程

学部・学科名		募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
文 学 部	スペイン語スペイン文学科	5名	【郵送・窓口】 平成29年 9月7日(木) ～ 10月2日(月)	平成29年 10月22日(日)  本学 キャンパス	平成29年 10月30日(月)  簡易書留・配達日指定 郵便にて受験者本人 宛に通知	平成29年 10月30日(月) ～ 11月16日(木)
	英語英文学科	5名				
	地球市民学科	7名				
	文化史学科	5名				
	日本語日本文学科	5名				

※1 選考の結果、本学で学修する能力に満たないと判断した場合、合格者数が上記募集人員を下回ることがある。

※2 郵送出願の場合は10月2日(月)の消印有効。窓口出願の受付時間は、月～金曜日の9～17時。これ以外の時間、土曜、日曜および祝日は取り扱わない。

## 2. 出願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当する女子。なお、英語英文学科および地球市民学科については、(4)にも該当すること。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成30年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者(次の①～⑥のいずれかに該当する者)および平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
  - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および平成30年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成30年3月31日までに修了見込みの者
  - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および平成30年3月31日までに修了見込みの者
  - ④ 文部科学大臣の指定した者
  - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定を含む)に合格した者および平成30年3月31日までに合格見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
  - ⑥ 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

※出願資格(3)①～⑥での出願を希望する場合は、事前の出願資格審査が必要です。必ず、平成29年8月4日(金)までに入試課にお問い合わせください。

- (4) 英語英文学科および地球市民学科については、**実用英語技能検定(英検)準2級以上**、または**GTEC for STUDENTS 485点以上**※1を取得していること。※2

※1 GTEC for STUDENTS の点数は、Listening・Reading・Writing の3技能のスコアの合計点。オフィシャルスコアに限らない。

※2 出願に必要な基準を満たしていない場合でも、事前審査の結果、出願を認めることがある。詳しくは、後述「英検、GTEC for STUDENTS 以外の資格・検定試験の代替資格審査について」参照。

### 【英検、GTEC for STUDENTS以外の資格・検定試験の代替資格審査について】

実用英語技能検定(英検)、GTEC for STUDENTS を受験していない、または出願に必要な級・スコアを有していない場合でも、それ以外の英語の資格・検定試験を受験しているときは、代替資格審査を申請することができる。

代替が可能な資格・検定試験の例：Cambridge English/GTEC CBT/IELTS/TEAP/TOEIC/TOEIC L&R/TOEIC S&W/TOEFL iBT/TOEFL Junior Comprehensive など

申請方法：審査を希望する英語の資格・検定試験の成績表または合格証明書のコピーを添えて申請する。

提出期日・提出先：平成29年9月12日(火)必着

〒141-8642 東京都品川区東五反田3-16-21 清泉女子大学 入試課 宛

審査結果：郵送で通知する。審査の結果、英検準2級以上、GTEC for STUDENTS 485点以上に相当すると認められた場合には、これらに代わる資格として認められる。

### 3. 出願手続

入学検定料を納付の上、出願期間内に郵送または窓口で出願書類を提出してください。

#### (1) 出願書類

- ① 入学志願票 (A～C 票・本学所定用紙) .....1 通
- ② 写真 (タテ 4 cm×ヨコ 3 cm) .....3 枚  
写真は、①の入学志願票の A 票・B 票および③の志願書に貼付してください。
- ③ 志願書 (本学所定用紙) .....1 通
- ④ 志望理由書 (本学所定用紙) .....1 通
- ⑤ 活動報告書 (本学所定用紙) .....1 通  
活動成果を証明できるもの、参考資料等 (コピーでも可) を必ず添付してください。それらの添付書類がない場合は、評価の対象とはなりません (詳細は活動報告書参照)。
- ⑥ 発表概要 (文化史学科のみ、本学所定用紙) <sup>※1</sup> .....1 通  
<sup>※1</sup> 文化史学科志願者は、以下のテーマから一つを選び、選択したテーマ、発表の概要 (400 字以内)、参考文献を記すこと (面接時にこれをもとに発表を行う)。参考にした書籍等の文章をそのまま写すことはつしむこと。  
【テーマ】  
・歴史を動かした思想      ・関心のある美術作品とその時代      ・ヨーロッパの革命と反乱  
・アジアと日本              ・女性と戦争
- ⑦ 出身高等学校長または中等教育学校長が証明し厳封した調査書 .....1 通  
高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定を含む)合格者の場合は**合格成績証明書**、同合格見込みの者の場合は**合格見込成績証明書**を、調査書の代わりに提出してください。なお、高等学校等で修得した科目がある場合には、高等学校等の**調査書**または**成績証明書**も合わせて提出してください。
- ⑧ 英語英文学科および地球市民学科志願者は実用英語技能検定(英検)準 2 級以上の**合格証明書**、または GTEC for STUDENTS のスコアレポートのコピー .....1 通  
前述の代替資格審査において代替が認められた場合は、その資格・検定試験の**成績表**または**合格証明書**のコピーを提出してください。
- 次の⑨～⑭の書類は、「留学」などの資格で日本国に在留している者(外国人留学生など)のみ、提出してください。  
なお、⑪の用紙は願書の中に含まれておりませんので、別途入試課にご請求ください。  
また、提出すべき書類のうち、外国の学校または機関が作成する書類で英語以外の言語で記載されている場合は、大使館または領事館において原本の内容と相違ないことの証明を受けた日本語または英語の訳文を添付してください。
- ⑨ 日本国外居住者は市民権等出身国の公的機関が発行する**居所証明書**、日本国内居住者は**住民票の写し** (原本、在留資格が明記され、出願前 3 か月以内に発行されたもの) .....1 通
- ⑩ 旅券査証 (顔写真のページ) のコピー .....1 通
- ⑪ 経費支弁書 (本学所定用紙) .....1 通
- ⑫ 経費支弁者と本人との親族関係を証明する書類、経費支弁者が親族・本人以外の場合には、その続柄を示す書類 .....1 通
- ⑬ 預金残高証明書 .....1 通
- ⑭ 預金通帳の写し (直近 1 年間程度のもの) <sup>※2</sup> .....1 通  
<sup>※2</sup> 日本に在住する志願者本人が経費支弁者となる場合のみ、提出してください。

疾病・負傷や身体等に障がいがあるために、受験上または入学後に特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、下記の期限 (入学検定料を納入する前) までに、必ず入試課にご相談ください。疾病・負傷や障がいの状況によっては受験や就学が困難である可能性があります。また、相談内容によっては事前に面談をさせていただく場合がありますが、この面談は、特別な配慮の内容等について確認するためのものであり、合否とは一切関係ありません。

なお、期限後のお申出については受験上の特別な配慮ができない場合があります。不慮の事故等により、この申出期限や出願後に、特別な配慮が必要となった場合も、速やかに入試課にご相談ください。

また、日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日に使用する場合も、試験場設定等の関係上、必ず事前にご相談ください。

●申出期限・平成 29 年 8 月 4 日 (金) まで

●問合せ先・清泉女子大学入試課 (03) 5421-3231

#### (2) 入学検定料

35,000円

納付は銀行振込に限ります。5 ページの注意事項「2. 入学検定料の振込について」をご参照ください。

#### (3) 出願書類送付・問合せ先

〒141-8642 東京都品川区東五反田 3 丁目 16 番 21 号 清泉女子大学 入試課 TEL (03) 5421-3231

## 4. 選考方法、試験日および試験時間割

### (1) 選考方法

以下①～③（文化史学科は①および③）を総合的に評価し選考します。

- ① 書類審査（提出書類による）
- ② 小論文（文化史学科を除く）

学科	内容		時間	配点
スペイン語 スペイン文	試験日に講義を行い、その内容を要約させるとともに、それと関連した事項について自己の意見を記述させ、理解力、文章表現力、論理的思考力等を評価する。（全体で1,200字程度）	講義	50分	100点
		小論文	80分	
英語英文	英文を読み、その内容をふまえて自己の意見を日本語で記述させ、理解力、文章表現力、論理的思考力等を評価する。（全体で800字程度）		60分	100点
地球市民	日本語による課題文を読み、その内容を要約させるとともに、課題文の内容をふまえて自己の意見を日本語で記述させ、理解力、文章表現力、論理的思考力等を評価する。（全体で1,200字程度）		80分	100点
日本語日本文	現代文と古文を読み、それぞれについてその内容を要約させるとともに、自己の意見を記述させ、理解力、文章表現力、論理的思考力等を評価する。また、漢字の書き取りや読み、古典常識、文学史等の知識についても問う。（全体で800字程度）		80分	100点

### ③ 面接（個人面接・1人20～30分）

志望動機や勉学以外の諸活動に関する質問とともに、基礎的学力を測る質問を含む。

- ・英語英文学科では、英問英答を含む。
- ・地球市民学科では、英問英答等を含む。
- ・文化史学科では、出願時に提出した「発表概要」に基づく5～10分の発表、および発表内容に関わる質疑応答を含む。

#### <面接時の注意事項（文化史学科）>

- ・「発表概要」に基づく発表時には、面接室内の黒板を使用することができます。
- ・「発表概要」に基づく発表時に使用する資料を、面接室内に持ち込むことができます。持ち込みが認められるものは、次の通りです。

#### 【持ち込み可】

○志願者本人が発表の際に参照する資料（書籍・辞書等を含む）

○配付物<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> 配付物がある場合は、**5部（自分の分を除く）**持参し、発表時に面接担当者に配付してください。なお、配付資料は返却いたしません。

○掲示物<sup>\*2</sup>

<sup>\*2</sup> 模造紙などの大きな掲示物がある場合は、**1部**持参し、発表時に自分で黒板に貼付してください。面接室にはマグネットを準備しています。なお、使用した掲示物は返却いたしません。

#### 【持ち込み不可】

×電子機器類（パソコン、タブレット、スマートフォン、電子辞書など）

### (2) 試験日・試験時間割

平成29年10月22日（日）

#### 【スペイン語スペイン文学科】

9:00～9:50	10:10～11:30	12:10～
講義	小論文	面接

#### 【英語英文学科】

10:00～11:00	12:00～
小論文	面接

#### 【地球市民学科・日本語日本文学科】

10:00～11:20	12:00～
小論文	面接

#### 【文化史学科】

10:00～
面接

## 5. 選考結果の通知

平成29年10月30日(月)着の簡易書留・配達日指定郵便にて受験者本人宛に通知します。電話、電子メール等による可否に関する問合せには一切応じません。

## 6. 入学手続

所定の期間内に学生納付金を納め、かつ、入学手続書類を提出することにより、入学手続が完了します。所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を放棄したものとみなします。詳細は、選考結果の通知の際に合格者に交付する『入学手続要項』によります。

### (1) 学生納付金の納付期間

平成 29 年 10 月 30 日(月)から 11 月 16 日(木)まで (締切日の金融機関収納印有効)  
上記期間内に学生納付金を銀行振込で納付してください。

### (2) 入学手続書類

合格者に交付する『入学手続要項』に従って、所定の期日までに入学手続書類を郵送してください。

## 7. 学生納付金

平成 30 年度入学者の学生納付金は、次のとおりです。なお、日本語日本文学科は実習料として観劇代が加算されるため、1・2 年次の納付総額が他の 4 学科とは異なります(※2 参照)。

#### 【4 年間の学生納付金】

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
入 学 金	250,000円			
授 業 料	780,000円	780,000円	780,000円	780,000円
施 設 費	340,000円	340,000円	340,000円	340,000円
計	1,370,000円	1,120,000円	1,120,000円	1,120,000円

※1 学生納付金には、消費税は課されません。

※2 日本語日本文学科では1・2年次を対象に、歌舞伎・浄瑠璃・能等の観劇会が必修科目の中に組み込まれているため、観劇代として実習料1年次 4,000 円、2年次 6,000 円が上記の金額にそれぞれ加算されます。

※3 入学金を除く学生納付金については、次表のとおり前期・後期の2回に分けて納付することができます。

#### ◎分割納付の場合

##### 【前期】 (入学手続時納付額)

入 学 金	250,000円
授 業 料	390,000円
施 設 費	170,000円
計	810,000円

##### 【後期】 (10 月納付額)

授 業 料	390,000円
施 設 費	170,000円
計	560,000円

※分割納付する場合、日本語日本文学科では実習料(1年次 4,000 円)は前期分の入学手続時納付額に加算されます。

## 8. 学園募金

入学後に学園募金の募集を行います(1口5万円)。ただし、本寄付金への応募は任意です。

## 9. 入学辞退

- (1) 入学手続期間内に所定の入学手続をとらない場合は、入学資格を失います。
- (2) 所定の入学手続完了後に本学への入学を辞退する場合は、入試課に本学所定の「入学辞退書(兼学生納付金返還請求書)」を請求し、必要事項を記入の上、原則として平成 30 年 3 月 16 日(金)までに提出してください。所定の手続きを済ませた方には、入学金を除く学生納付金(日本語日本文学科の場合は「実習料」を含む)を返還いたします。
- (3) (2)の期日以後であっても平成 30 年 3 月 31 日(土)13 時(必着)までに「入学辞退書(兼学生納付金返還請求書)」を提出された場合は、入学金を除く学生納付金(日本語日本文学科の場合は「実習料」を含む)の返還に応じています。

## 10. 学内奨学金制度

本学では、学業をサポートするために、各種奨学金制度を設け、授業料の援助をはじめ、国外留学生・私費外国人留学生、教職課程履修者への援助を行っています。詳細については、以下をご覧ください。

▶<http://www.seisen-u.ac.jp/campuslife/about/expense/index2.php>

# 注 意 事 項

## 1. 提出書類（入学志願票、写真）について

- (1) 入学志願票はA・B・C・D・Eの各票が一続きになっています。志願者はA～E票の太線内のみ記入してください。
- (2) 入学志願票等の書類に記入する際には、文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。記入にはボールペン、万年筆、サインペン等を用いてください。鉛筆での記入は認められません。書き損じがあった場合、二重線で訂正し、訂正印を押してください。
- (3) A票記入上の注意
  - ① 志望学科欄は、志望学科番号を○で囲んでください。
  - ② 氏名・生年月日は、住民票に記載されているものを記入してください。
  - ③ 外国籍の者が通称名を用いる場合は、住民票記載の通称名に限ります。
  - ④ 出身校名は省略せずに正確に記入してください。
  - ⑤ 在留資格欄は、入国管理局によって認められた在留資格を有する者のみ、在留資格の種類（「留学」など）を記入してください。
  - ⑥ 清泉女子大学では、志願者の出身高等学校での進路指導の参考としていただくために、個人名を含まない形式で各校別の情報を提供する場合があります。また、個人名を含む情報提供を許可いただいた方については、各校における守秘を前提に、個人名を含めた形式で提供させていただきます。この情報提供を許可しない方のみ、『入試情報提供』欄の○印を黒く（●）塗りつぶしてください。
- (4) B票記入上の注意
  - ① 志望学科欄は、志望学科番号を○で囲んでください。
- (5) C票記入上の注意
  - ① 志望学科欄は、志望学科番号を○で囲んでください。
- (6) D票記入上の注意
  - ① 学科番号欄は、番号を○で囲んでください。
  - ② 氏名は、住民票に記載されているものを記入してください。
  - ③ 外国籍の者が通称名を用いる場合は、住民票記載の通称名に限ります。
- (7) 写真についての注意
  - ① 上半身正面背景なしで、試験日から3か月以内に撮影したものに限りします。
  - ② スナップ写真は用いないでください。
  - ③ 試験当日に眼鏡を使用する場合は、写真も眼鏡を着用したものにしてください。
  - ④ 写真がはがれる場合がありますので、写真裏面に志望学科・氏名を記入してから貼付してください。

## 2. 入学検定料の振込について

- (1) 入学検定料の納入方法は銀行振込に限ります。窓口出願の場合も、入学検定料は銀行振込で納付してください。なお、指定銀行(三菱東京UFJ銀行)から振り込む場合、振込手数料は無料です。
- (2) 入学検定料は、出願締切日(収納印有効)までに銀行振込してください。締切日後の振込は受け付けません。なお、出願開始(9月7日)前に振込をされてもかまいません。
- (3) A～E票の必要事項を記入後、切り離さずに銀行に持参して、振込手続きをしてください。
- (4) 銀行ではA・D・E票に収納印を押印してもらい、A・B・C・E票を受け取ってください。D票(振込依頼書)は銀行が保管します。受け取る際に、A票とE票に取扱銀行の収納印があることを確認してください。
- (5) E票(振込金受領書)は領収書にあたります。銀行から受け取り志願者本人が大切に保管してください。
- (6) 出願の際には、A～C票を切り離さないで同封してください。
- (7) いったん納付した入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。

## 3. 受験票について

- (1) 郵送出願の場合、受験票は郵送で交付します。受験票が手元に届いたら、受験番号を確認してください。
- (2) 試験日5日前になっても返送されてこない場合や、受験番号の印字が不鮮明な場合は、直ちに入試課にお問い合わせください。
- (3) 窓口出願の場合、受験票は出願書類受付の際に交付します。

## 4. 試験場への入場について

- (1) 試験場の開門は、試験または面接開始時間の1時間前(スペイン語スペイン文学科は8:00、英語英文学科・地球市民学科・文化史学科・日本語日本文学科は9:00)です。

- (2) 試験場入口（正門）で係員に受験票を提示して入構してください。受験票を忘れたり紛失したりした場合は、係員に申し出てください。また、受験票は常に携帯してください。
- (3) 構内には試験室等を案内する掲示が出ています。受験者は、試験開始時間の20分前（スペイン語スペイン文学科は8時40分、英語英文学科・地球市民学科・日本語日本文学科は9時40分）までに指定された試験室に入室してください。  
文化史学科の受験者には、「試験当日の面接（予定）時間割」を事前に郵送します。必ず指定された集合時間までに大学に到着し、面接控室に集合してください。
- (4) 試験室では、自分の受験番号の座席に着席してください。ただし、面接控室では座席の指定はありません。
- (5) 試験開始20分経過後に到着した場合は受験を認めません。

## 5. 所持品について

- (1) 試験中に使用できるものは次のとおりです。

試験中に使用を認めるもの	試験中に使用を認めないもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・HBの黒鉛筆、HB黒芯のシャープペンシル</li> <li>・消しゴム</li> <li>・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）</li> <li>・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末・ICレコーダーなどの電子機器類</li> <li>・下敷き</li> <li>・耳せん</li> <li>・電子辞書、翻訳機</li> <li>・和歌・格言などが記されている鉛筆</li> <li>・カラーペン、色鉛筆、色マーカーペン（蛍光ペンなど）</li> </ul>

- (2) ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）、ハンカチ、目薬、マスク等は、試験監督の許可を得た上で使用してください。
- (3) 試験当日は、胸や背中等に英文字や地図がプリントされている衣服の着用を禁止します。万一着用している場合は脱衣等を指示する場合がありますので、試験監督の指示に従ってください。
- (4) 受験する試験場は受験番号等によって割り当てられますが、建物、階数などによって教室の大きさや室温等の環境が異なります。また、座席の位置によって「暑い」「寒い」と感じる場合もありますので、体温調節の可能な衣服の着用をお勧めします。試験時間中にコート等を着用してもかまいません。

## 6. 試験時間中の注意

- (1) 試験室内では、全て試験監督、係員の指示に従ってください。指示に従わない場合および他の受験者に迷惑となる行為があった場合、退出を求められることがあります。
- (2) 受験票は試験監督、係員が見やすいように、机右上に置いてください。
- (3) 受験票のほか、前述の「試験中に使用を認めるもの」以外のものは机の上に置かないでください。
- (4) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験中にこれらをかばん等にしまわず、身につけたり手に持っているとは不正行為となることがあります。これらの電子機器類を時計として使用することはできません。教室によっては時計がない場合や見づらい場合がありますので、時計は各自持参してください。
- (5) スペイン語スペイン文学科で行われる講義の際は、配付される講義メモ用紙にメモをとり、小論文試験の際にそのメモを見ることができます。
- (6) 試験中、体の具合が悪くなった時は、挙手して試験監督に申し出てください。保健室には看護師が待機していますが、保健室での受験や試験時間の延長は認められません。
- (7) 隣席の受験者の体調不良等による入退室のため、試験監督の指示により、席を立っていただくことがあります。
- (8) 試験時間中に日常生活騒音等（試験監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。試験監督が試験中断の指示をしない限り、解答を続けてください。
- (9) 以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為の疑いがある場合には、試験監督、係員が注意または事情を聴取する場合があります。その際に要した試験時間の延長はできません。不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできません。また、入学検定料は返還されません。
- ① カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
  - ② 使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
  - ③ 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
  - ④ 写真票に本人以外の写真を貼ること。
  - ⑤ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
  - ⑥ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、携帯音楽プレーヤー等を身に付けていること。
  - ⑦ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・時計・携帯音楽プレーヤー等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
  - ⑧ 試験監督、係員等の指示に従わないこと。

- ⑨ 試験終了の合図、または試験監督の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
  - ⑩ 自身を利するような虚偽の申出をすること。
  - ⑪ 試験室等において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - ⑫ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (10) 答案が完成しても、試験が終了するまで途中退室はできません。途中退室した場合は、欠席扱いとなります。試験監督の指示があったから退室してください。

## 7. 面接について

- (1) 面接は、学科別・受験番号順に実施します。
- (2) 文化史学科を除く学科では、面接時間割は小論文終了後、各人に配付します。
- (3) 面接時間に変更が生じる場合がありますので、指定時間の 20 分前には、面接控室で待機するようにしてください。
- (4) 面接控室では私語を慎んでください。
- (5) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、面接控室および面接室に入る前に、必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。これらをかばん等にしまわず、身につけたり手に持っているとは不正行為となることがあります。これらの電子機器類を時計として使用することはできません。
- (6) 面接控室から各面接室には係員が誘導します。
- (7) 面接室に移動する際は荷物を携帯してください。面接終了後に面接控室へ戻ることはできません。
- (8) 面接終了後はすみやかに帰宅してください。

## 8. その他

- (1) 受験者は、小論文と面接を両方とも（文化史学科は面接のみ）受験しなければなりません。
- (2) 大学構外への外出は試験終了まで認められません。食事は面接控室でおとりください。試験当日、食堂は営業していませんので、昼食は各自持参してください。
- (3) 試験当日、付き添い者のための控室を用意していますが、試験室等に立ち入ることはできません。
- (4) 駐車場および駐輪場は用意しておりませんので、公共の交通機関を利用してください。
- (5) 上履きを持参する必要はありません。
- (6) 試験当日は、必ずこの入学試験要項を持参し、必要事項を再確認してください。
- (7) 志願者により面接終了時刻は異なります。面接は受験番号順に行いますので、志願者が多い場合、終了時刻が遅くなる場合があります。帰宅時の交通機関の出発時刻に制約がある場合は、早めの出願をお薦めします。
- (8) 忘れ物をした場合は、入試課に申し出てください。半年間経過しても持ち主の申出がない場合は処分いたします。
- (9) **学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項**

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により医師等において伝染の恐れがないと認められたときは、この限りではありません（要診断書・事前連絡）。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

## 9. 緊急時の対応と連絡について

交通障害・気象状況・インフルエンザ等感染症の拡大等により、入学試験実施に影響を及ぼす事態が生じた場合は、対応措置を清泉女子大学ホームページで随時お知らせします。

清泉女子大学ホームページ ▶ <http://www.seisen-u.ac.jp/>

## 10. 清泉女子大学の入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）について

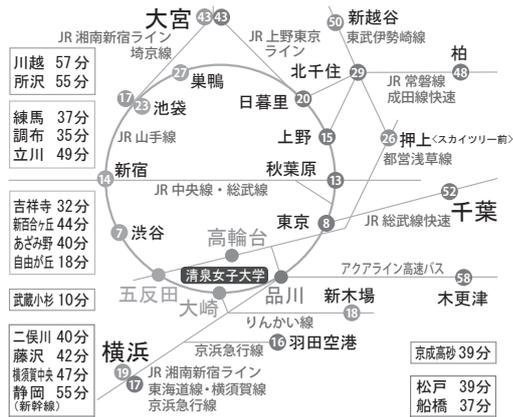
清泉女子大学の入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）については、以下をご覧ください。

▶ [http://www.seisen-u.ac.jp/overview/information/education/student.php#gakubu\\_AP](http://www.seisen-u.ac.jp/overview/information/education/student.php#gakubu_AP)

## 11. 個人情報の取扱いについて

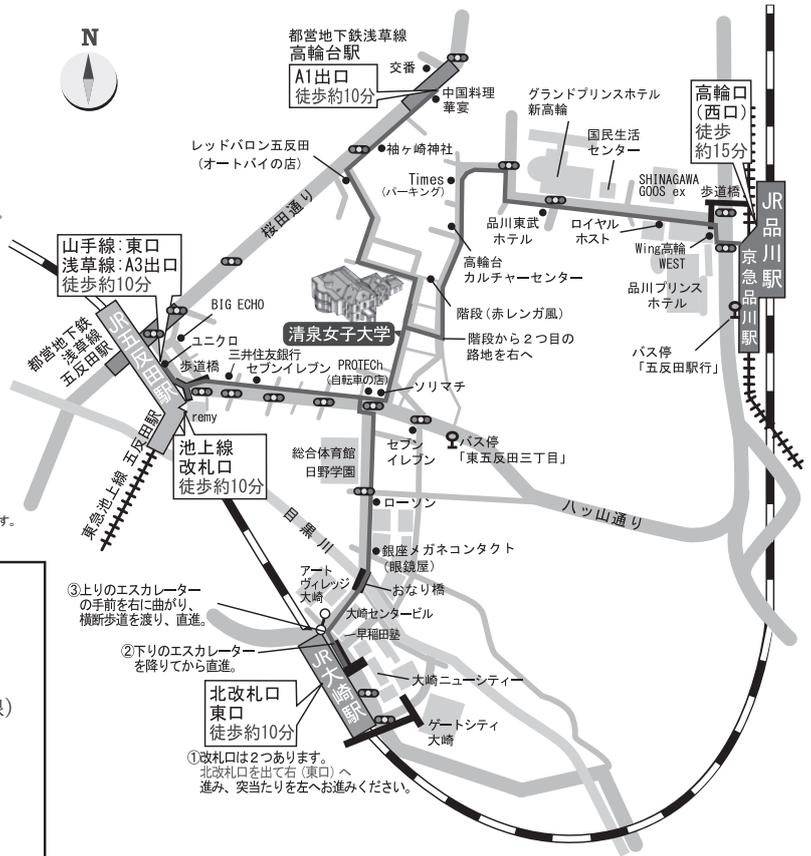
出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験の実施（出願処理・試験実施）、②合格発表、③入学手続、ならびにこれらに付随する事項を行うために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータを、清泉女子大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。入学者については、当該個人情報および入試成績の一部を、入学後の学生相談・指導に利用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 12. 交通案内および入学試験会場

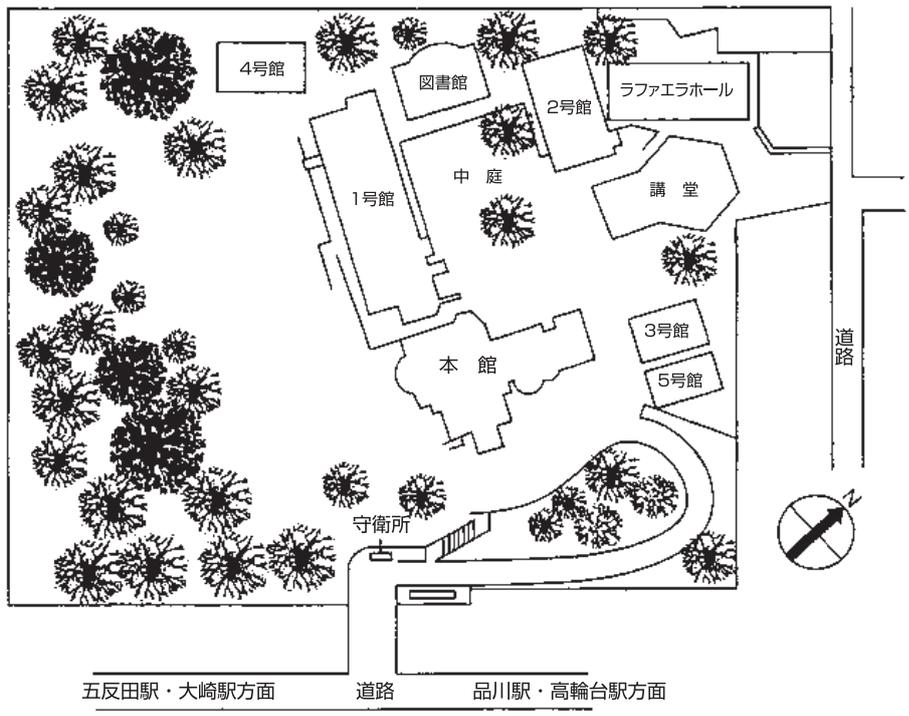


注:○及び口内の数字は、「五反田」「大崎」「品川」または「高輪台」駅までの所要時間(分)の目安です。

- 「五反田」駅より徒歩約10分  
(JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線)
- 「大崎」駅より徒歩約10分  
(JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン、りんかい線)
- 「品川」駅より徒歩約15分  
(JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線・上野東京ライン、京浜急行線、東海道新幹線)  
または「品川」駅より「五反田駅行」バスにて、「東五反田三丁目」下車、徒歩約5分
- 「高輪台」駅より徒歩約10分  
(都営地下鉄浅草線)



- ①改札口は2つあります。北改札口を出て右(東口)へ進み、突当たりを左へお進みください。
- ②下りのエスカレーターを降りてから直進。
- ③上りのエスカレーターの手前を右に曲がり、横断歩道を渡り、直進。



五反田駅・大崎駅方面      道路      品川駅・高輪台駅方面

# 志 願 書 (AO入試)

※受験番号	
-------	--

志 願 者	志望学科	学 科		
	フリガナ			
	氏 名	(姓)	(名)	
	生年月日	(西暦)                      年                      月                      日 生		
	現住所	〒                      都道府県		
	T E L	自 宅	(                      )	
	携 帯	(                      )		
履 歴 事 項		年 月	都道府県 立	中学校 卒業
		年 月	都道府県 立	高等学校 卒業 中等教育学校 卒業見込
		年 月		
備 考	高等学校または中等教育学校在学中に何らかの就学上の支援を受けている場合や、健康上の問題等、受験上または入学後に配慮すべきことがある場合には、できるだけ具体的に記入してください。			
注 意 事 項	1. 文字は楷書で、数字はすべて算用数字を使用してください。 2. 生年月日および履歴事項等の年月日は、西暦で記入してください。 3. 写真は上半身正面背景なしで、試験日から3か月以内に撮影したもので、裏面に必ず志望学科、氏名を記入してください。写真はカラー、白黒どちらでもかまいません。			





Blank lined paper for writing.

( 字 )

# 活動報告書 (AO入試)

志望学科	学科		*受験番号	
フリガナ				
氏名	(姓)	(名)		

## 記入方法

- ① 高等学校入学または中等教育学校第4学年から出願までの期間における諸活動の実績(成果・成績等)について記入してください。「2. 海外滞在歴」を除き、高等学校入学前や中等教育学校第4学年より前のものは記入しないでください。
- ② 各活動の実績には、必ずそれを証明できる資料等を添付してください(コピーでも可)。それらの添付書類がない場合は、評価の対象とはなりません。
  - 添付資料は、原則として1つの実績につき1点、最大でも3点以内とします。必要な場合は、その中に活動内容について自分で詳しく説明した文章を含めてもかまいません。大きさはなるべくA4サイズに統一してください。
  - 正式な証明書に当たらない場合は、在学(出身)高等学校または中等教育学校の教諭等による証明文でもかまいません(様式は自由)。調査書に記載がある場合には、活動実績を証明する資料等は不要です。
- ③ 【スペイン語スペイン文学科志願者の方へ】スペイン語スペイン文学科志願者の方に特に活動報告書に記載してもらいたい活動実績は、ア. スペイン語圏での滞在経験、イ. スペイン語スピーチコンテストでの入賞歴、ウ. 西語検定試験の合格実績、などです。  
 【英語英文学科志願者の方へ】英語英文学科志願者の方に特に活動報告書に記載してもらいたい活動実績は、ア. 英語プレゼンテーションコンテストや英語スピーチコンテストなどの英語で発表するコンテストでの入賞歴、イ. 海外での学習経験や文化的体験、ウ. 日本国内での国際交流的な経験、エ. ボランティア活動の経験、などです。
- ④ 活動実績を証明する資料等には、資料番号欄に記入したものと同一番号を付番してください。調査書に記載があり、活動実績を証明する資料等の添付が必要ない場合は、「\*」と記入してください。
- ⑤ 活動期間等は、西暦で記入してください。

## 1. 学歴・職歴:

高等学校または中等教育学校卒業後、現在までの間に在学・在職歴がある場合は記入してください。

学校・会社名	所在地 (都道府県名等)	在学・在職期間	資料番号
		年 月 日～ 年 月 日	
		年 月 日～ 年 月 日	

## 2. 海外滞在歴: 海外滞在歴(観光を除く)がある場合は記入してください。

滞在先国名	帯同者	*海外滞在期間	目的	資料番号
	有・無	年 月 ～ 年 月		
	有・無	年 月 ～ 年 月		
	有・無	年 月 ～ 年 月		

\*高等学校・中等教育学校在学中に留学期間がある場合は、留学先の証明書および調査書に記載の留学期間と上記記載の海外滞在期間が一致していることを確認してください。

### 3. 学術・文化・芸術・スポーツ活動等の活動実績

年	月	大会等の名称	主催機関	大会等の規模	成績結果・公式記録	資料番号

(注) 「大会等の規模」には、個人で活動を行う分野については参加者数を、団体に活動を行う分野については参加チーム数を記入してください。なお、複数の競技・種目に亘る大会の場合、大会の全体ではなく、当該成績を収めた個別の競技・種目等の参加者数、参加チーム数を記入してください。

### 4. 資格等の取得

(英検・TEAP等の資格・検定試験、国際バカロレア (IB)、各種検定試験等)

年	月	資格等の名称	資格級位	資格認定機関名	資料番号

5. 上記以外にも自己アピールできるような特筆すべき活動実績がある場合は、具体的に記入してください。

活動期間	活動内容等	資料番号
～ 年 月 年 月		

以上

